リニエプラッツ板橋

令和5年度　事業所向け　放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	71.4%	14.3%	14.3%	・パーテションなどを利用し、必要に応じて仕切っている
②	職員の配置数は適切である	57.1%	14.3%	28.6%	・看護師の人数を増やすことを検討している
③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	57.1%	42.9%		
④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	71.4%			
⑤	保護者向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	85.7%	14.3%		
⑥	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所としての自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している。	42.9%	42.9%	14.3%	
⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	42.9%	57.1%		
⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%			・オンライン研修が夜間なので仕事に影響なく受講できる。その反面夜間では家事を行いながら、端末片手に受講せざるを得ない場面もありカメラオフで受講している。
⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	85.7%	14.3%		
⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールをしようしている	57.1%	42.9%		
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	85.7%	14.3%		・月に一度会議日を設けて基本となる軸について打ち合わせている

リニエプラッツ板橋

令和5年度　事業所向け　放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%			・集団プログラムでは、曜日固定せずスタッフ持ち回りで元案を考えて共有し、意見を求めた上でプログラムを行っている
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	42.9%	57.1%		
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	100%			
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%			・毎朝時間を設定して、タイムテーブルや役割分担、休憩シフトなどを確認している。送迎で不在職員にも伝える担当を決め、漏れがないようしている。
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等共有している	100%			・午後の支援準備や休憩時間を考慮しながら、臨機応変に振り返りの時間や場所を考え、打ち合わせを欠かさず行えるようにしている
⑰	日々の支援に関して記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%			・誰もが記録を見られるようにしてあり、重要事項は確認サイン欄を設けて漏れが無いようしているしている
⑱	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	71.4%	28.6%		
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っているか	71.4%	28.6%		
⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	85.7%	14.3%		
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	42.9%	57.1%		
㉒	（医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合） 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	33.3%	66.7%		・みんなが周知できるようなフローを考える ・主治医や連絡先を一覧表にしてわかりやすくしている
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に務めているか	42.9%	57.1%		

リニエプラッツ板橋

令和5年度　事業所向け　放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	28.6%	57.1%	14.3%	対象児無し
㉕	児童発達支援センターや発達障碍者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	28.6%	57.1%	14.3%	
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はあるか	42.9%	42.9%	14.3%	・これから連携していく予定あり ・先日初めて近隣の児童館に医ケア児を連れて行った。不特定多数の同年齢の中に入る事が少ないので機会を増やしたい。今回は場所に慣れることを目的としたが、子ども同士の交流を目指したい
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	28.6%	42.9%	28.6%	
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達や状況や課題について共通理解を持っている	100%			
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	14.3%	42.9%	42.9%	・日々のフィードバックの際に相談に応じている。発達に関してだけでなく家族支援もできるよう心がけている
㉚	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	85.7%	14.3%		
㉛	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%			・日々のフィードバックの際に相談に応じている。発達に関してだけでなく家族支援もできるよう心がけている
㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	14.3%	42.9%	42.9%	

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
㉝	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	100%			・送迎時に動画や写真で施設内での様子を見ていただいている。お便りも定期的にお渡ししている。 ・連絡のルートをしっかり決めている ・わかりやすい言葉で説明するように心掛けている ・保護者との情報共有の場を設ける ・簡易的かつ、職員がリアルタイムで確認できるよう公式LINEの運用を始めた ・行事や日々の様子を写真を入れて分かりやすく掲載するとともに、個人が特定されないよう顔を隠すなと個人情報に配慮している ・保護者に対しては、写真や動画なので活動の振り返りをしている。こどもには、理解レベルに合わせてハンドサインや写真カードなども取り入れている。保護者には定期的に活動内容等のお手紙を発行している
㉞	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	85.7%	14.3%		
㉟	個人情報の取り扱いに十分注意している	100%			
㊱	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%			・視覚情報の方が入りやすい子どもに対して絵カードを提示したり、簡単な手話や手振りを交えたりしている。聴覚障害児が数人いるので、個人的には手話を学びたいと考えている
㊲	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	14.3%	28.6%	57.1%	
㊳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	42.9%	57.1%		・行ってはいるが、訓練の回数や具体策が必要だと思う
㊴	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	57.1%	42.9%		・スタッフから訓練の回数を増やしたいという意見が上がっているため来年度の検討課題とします
㊵	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	100%			

リニエプラッツ板橋

令和5年度　事業所向け　放課後等デイサービス自己評価集計結果

放	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
㊵	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	57.1%	42.9%		
㊶	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	28.6%	71.4%		
㊷	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	85.7%		14.3%	・親からの聴取のためしっかり把握する必要がある ・現在は対象の在籍児無し ・施設内で飲食するお子さんはお弁当を持参しているが対象児童がいた場合は配慮する
㊸	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%			